

# みんな で 生きる

No.455  
2018 6・7

MLC  
JOCS 医療を通じて、愛を世界へ。  
公益社団法人  
日本キリスト教海外医療協力会  
JAPAN OVERSEAS CHRISTIAN MEDICAL COOPERATIVE SERVICE

1972年4月25日第三種郵便物認可 通巻455号  
2018年6月10日(隔月10日発行)

年次報告書同封のため、今号は簡易版としています。



バングラデシュ・マイメンシンのラルシュ・コミュニティで暮らす仲間たち

「みんなで生きる」世界を祈り求めて

会 長 畑野研太郎

いまだに時々ベンガル語を話している夢を見る。バングラデシュで働いていたときからすでに24年が経ったのに。もちろん夢のことだから内容は支離滅裂なことが多い。本当にベンガル語を話していたかと聞かれても、あまりはつきりはしない。しかし夢の最後の一言は確かにベンガル語のように思える。場面は、ベンガル語の原稿の準備が不十分なのにたくさんの人の前で演説をしたり、誰かを懸命に説得していたりと、どうも冷や汗をかきような場面が多い。登場する友人には絶対にベンガル語を話さないような人物もいる。起きたときには少しほっとする。

目が覚めてから、バングラデシュにいる貧しい友人たちのことを改めて思いだす。ハンセン病を患った友人や、一緒に働いた同僚は、いまどうしているのだろうか。幸せに過ごしているのだろうか。中には、いまでも細々と連絡が続いている友人たちもいる。すでに鬼籍に入ってしまった方もいる。そして、毎日の自分の生活と彼らの生活を思い較べる。申しわけない思いが湧き起ってくる。

日本に帰ってきてから、ハンセン病の回復者と生活を共にした。これらの方々のなかには、かつて隔離されて、ひどい生活状況の中で亡くなっていった友人たちに、罪の意識を感じておられる方が多くおられると知らされた。また、ひどい戦争から無事に帰還した人が、戦死した友人に罪の意識を感じるということもよく聞く。

同じように、小さい地球の上で同じ時代に生きている命のことを思う。恵まれた環境の中に置かれたものとして申しわけないと思う。たとえ小さなことでも、何かをさせていたいただきたいと思う。「みんなで生きる」平和、格差や差別のない真の平和を創りだしたいと祈る。



## 活動中のワーカーたち

海外に派遣する保健医療従事者を JOCS ではワーカーと呼んでいます。現在活動している3名のワーカーを紹介します。



バングラデシュ派遣

岩本直美  
(看護師)

皆さまこんにちは。バングラデシュのマイメンシン県にあるラルシュ・コミュニティで暮らす岩本直美です。ここは知的な障がいのある人たちと、彼らと共に暮らしたいと願う者たちが暮らすコミュニティです。

知的な障がいのある人たちは、容易に人のところに触れることのできる美しい賜物があり、ラルシュはその賜物が人々の間に平和なところを生み出すと信じています。そして単純素朴な日々の暮らしを通して彼等の美しさを周りの人たちに伝えたいと願っています。これがラルシュの平和への歩みです。



バングラデシュ派遣

あやこ  
山内章子  
(理学療法士)

わたしが派遣されている障がい者コミュニティセンターには主に三つの働きがあります。一つは障がいを持つ人々への理学療法の提供で、毎週火曜日に行われている外来、脳性麻痺児のデイケア、訪問理学療法があります。二つ目は地域（集落や学校など）への働きかけで、障がいを持つ人々の権利を伝え理解を促しています。そして三つ目が障がいを持つ当事者たちの活動の支援です。それら三つの働きに理学療法士として関わり、たとえ小さなことでも地域に参加できるよう皆と共に考えています。障がいを持つ人々の心が小さく押しつぶされてしまうことのないように、と願っています。



タンザニア派遣

弓野綾  
(医師)

2015年から3年間、タンザニア・タボラにある聖アンナ・ミッシェン病院とタボラ大司教区保健事務所で活動しました。病院では診療の支援や慢性疾患外来の立ち上げ、保健事務所では診療統計データ分析などに協力しました。任期中の活動をあたたかくお支えいただき、本当にありがとうございました。

5月から国内で活動報告会を行っています。活動での出会いや気づきを皆様と分かちあえることを楽しみにしております。タボラではJOCSとの協働で、母と子の健康を守るためのママ・ナ・ムトプロジェクトが新しく始まりました。これからもJOCSの働きをお支えください。

### JOCS関西事務局職員を募集します

大阪・梅田にあるJOCS関西事務局の職員1名を募集します。応募条件は次のとおりです。

- ・当会の目的、事業に賛同していただけること（採用後、会員になっていただきます）
- ・企業または団体で3年以上の勤務経験（事務系の仕事）があること
- ・クリスチャンかまたはキリスト教に理解のあること
- ・パソコンを使えること（Word、Excel、PowerPoint等）
- ・事務局内外の調整を円滑に行うコミュニケーション能力があること
- ・日商簿記検定3級保有、または採用決定後に取得することが望ましい

2018年7月27日(金) 応募締切、8月18日(土) 面接、  
2019年1月7日(月) 勤務開始

業務内容、応募手続き、その他詳細については、募集要項（JOCSのホームページに掲載）をご覧ください。ご不明な点は、関西事務局・渋江までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 電話：06-6359-7277 E-mail：shibue@jocs.or.jp  
URL：http://www.jocs.or.jp

### 弓野ワーカー報告会のご案内

#### 開催時間変更のお知らせ

◆6月23日(土) 日本キリスト教団中村栄光教会での報告会（四国高知JOCS主催）は、開始時間が1時間早まり、14時～15時30分となりました。ご注意ください

◆7月1日カトリック町田教会での報告会は、主催町田JOCS・共催JOCS町田カトリックです。前号を訂正します。

#### 追加開催決定

◆7月17日(火) 19時30分～21時  
大垣市内キリスト教信徒会（日本キリスト教団大垣荒尾教会）岐阜県大垣市

◆7月29日(日) 15時～16時30分  
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団  
檀原キリスト教会 奈良県檀原市

# 2018年度 計画及び収支予算

2018年度も、ワーカー派遣、奨学金事業、協働プロジェクトを3本の柱として活動していきます。活動を続けるためには、皆様のご支援がぜひとも必要です。これからも変わらぬお支えを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【海外派遣】岩本直美ワーカーは、引き続き現地での活動を続けます。山内章子ワーカーは今年の末には帰国し、その後活動報告会を行います。弓野綾ワーカーは昨年度末に帰国し、7月まで各地で活動報告会を行います。

【奨学金】現在支援中の5カ国53名の奨学生のほか、今年度採用する奨学生を支援します。職員が秋にタンザニアを訪問し、モニタリングを実施する予定です。

【協働プロジェクト】カンボジアのSALTPプロジェクトは4年目に入りました。今年度は17の学校で健康教育を実施します。ケニアのシロアムプロジェクト

は3年目に入り、コミュニティでの療育活動を視野に入れて、その準備を始めています。タンザニアでは、母子保健プロジェクト「ママ・ナ・ムトプロジェクト」を開始しました。

【国内活動】使用済み切手運動のほか、新規支援者を増やすため、イベントや、ワーカーと職員による活動報告会を実施します。

【収支について】収入を前年度決算額より増やすことを目指します。収入増加の予算を達成できてもなお、今年度の一般正味財産の部は1602万円の赤字となります。この赤字は今までご遺贈などでいただいたご寄付を積み立てた海外保健医療協力資金積立金などを取り崩すこと

によって埋められます。ホームページ上で詳細な2017年度事業報告・会計報告書、2018年度事業計画・予算書をご覧いただけます。またご希望の方にはお送りいたしますので事務局までお申し付けください。



## 【一般正味財産増減の部】

<b>1 経常収益</b>	<b>計1億4,246万円</b>		
①受取会費	2,700万円	・事務所費	483万円
②事業収益 (使用済み切手収益を含む)	2,582万円	・事務用品費	229万円
③受取寄付金 (指定寄付金振替額を含む)	8,893万円	・通信費	169万円
④特定資産運用益	48万円	・その他 (減価償却費、租税公課、研修費等)	1,266万円
⑤雑収益他	23万円	②管理費	2,466万円
<b>2 経常費用</b>	<b>計1億5,848万円</b>	・人件費	1,314万円
①事業費	1億3,382万円	・事務所費	121万円
・海外派遣	2,049万円	・会議費 (理事会・総会)	182万円
・奨学金	717万円	・支払手数料	477万円
・協働プロジェクト	598万円	・その他 (事務用品費・通信費・交通費等)	372万円
・国内活動費	1,808万円	<b>当期経常増減額</b>	<b>△1,602万円</b>
・災害救援復興費	61万円	(1万円未満四捨五入、△はマイナスを表す)	
・募金・寄付経費	379万円	受取会費・受取一般寄付金の按分について	
・人件費	5,257万円	受取会費、受取一般寄付金は8:2に按分し、8割を公益	
・退職給付費	366万円	目的事業、2割を法人運営の管理費として使います。	

## 2018年度第2回 国際保健医療勉強会のご案内 異文化における地域医療・へき地医療支援 ～バングラデシュ・カイラクリ村の事例～

- 講師：乾真理子 元バングラデシュ派遣ワーカー (医師)
- 日時：2018年7月7日 (土) 15時～17時
- 場所：JOCS東京事務局または日本キリスト教会館4階会議室
- 参加費：500円
- 定員：20名
- \*勉強会終了後、ワーカー志願者向けに派遣希望者説明会 (30分程度) を実施します。



診療所スタッフと、左から3人目が乾元ワーカー

お申し込み・お問い合わせ：東京事務局 (松浦)  
E-mail : seminar@jocs.or.jp



# 地区JOCSから

●**仙台JOCS** 封筒などから使用済み切手をチヨキチヨキ切る作業「きつてきつぺ」を毎月第2土曜日に仙台市市民活動サポートセンターで実施中。使用済み切手が誰かのいのちや健康をまもります。お気軽にご参加ください。

●**足利JOCS** 早くも今年のクリスマスイベントの準備ミーティング・第1回目を開きました。今回もたくさんの方にご参加いただける楽しいひとときになるようスタッフ一同知恵をこぼしていきます。ご期待ください。

●**町田JOCS** 町田JOCSには、JOCS町田カトリックというランチがあります。教会の方たちのご協力で集まった使用済み切手を教会員の方と共に毎月第1日曜日、ミサ後に整理しています。今までに何度かJOCSワーカー報告会をカトリック町田教会を会場に町田JOCSと共催で行ってきました。今回、弓野綾ワーカー活動報告会を、カトリック町田教会

聖堂で7月1日(日)12時から開催します。町田近郊の方、ぜひお出かけください。

●**京都JOCS** 4月7日(土)鴨川の河川敷を歩くチャリティーウォーカーソンを開催しました。昨年は悪天候のため実施できませんでした。今年は桜こそ満開の時期が過ぎてしまっていました。皆で楽しく歩くことができました。7月7日(土)はカトリック河原町教会で14時から弓野ワーカーの報告会を開催します。



チャリティーウォーカーソンの様子 (京都JOCS)

●**大阪JOCS** 7月28日(土)14時から関西事務局と共催で、オープンサタデーという勉強会を関西事務局にて開催します。今回は弓野ワーカーを講師に迎えます。その準備のため、6月27日(水)に委員会を開催する予定です。

●**芦屋JOCS** 4月15日(日)

に委員会を開催し、7月8日(日)14時から芦屋聖マルコ教会で開催予定の弓野ワーカーの報告会とコンサートについて話し合いました。チラシの内容や当日の役割分担など、準備を行いました。

●**神戸JOCS** 6月30日(土)に神戸YWC A分室にて委員会を開催します。今回、ワーカーの報告会は予定していませんが、秋にイベントを企画したいと思っています。6月の委員会の時に、決定し準備に入ります。

●**四国高知JOCS** 4月21日(土)に日本キリスト教会高知旭教会で例会があり、6月の集いについて話し合いました。6月23日(土)は日本キリスト教団中村栄光教会で、24日(日)には日本キリスト教団高知教会で弓野ワーカーの報告会を予定しています。25日(月)には清和女子中高等学校の朝の礼拝でも弓野ワーカーにお話しいただく予定です。

お問い合わせはJOCSの各事務局へ  
 東京事務局へ：仙台足利町田JOCS  
 関西事務局へ：京都大阪芦屋神戸・  
 四国高知JOCS

(電話番号は下欄をご覧ください)

## 事務局便り

昨年11月に看護の学びを終えたウガンダの元奨学生バルク・モレシさんは、卒業後もよくEメールをくれます。ハロー・マイ・ディア(親愛なるみなさん)と始まる数行のシンプルなお便りは、いつも彼の優しさにあふれています。一番最近のメールは「明日、看護師協会に登録に行きます。ここまですべて支えてくれてありがとう。祝福がありますように」と喜びいっぱい。今年度も奨学金応募書類が続々と届いています。どんな出会いがあるか楽しみです。(松浦)

## 公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会

<http://www.jocs.or.jp>

- 東京事務局 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-51  
電話:03-3208-2416 FAX:03-3232-6922
  - 関西事務局 〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30  
電話:06-6359-7277 FAX:06-6359-7278
  - e-mail info@jocs.or.jp
  - 編集発行人 畑野研太郎(JOCS会長)
  - 編集長 森田隆(JOCS事務局長)
  - イラスト 石橋えり子 柏木牧子
  - 誌代 1部300円(送料込)
- JOCS会員は会費の中に本誌購読料が含まれています。また年間1万円以上(購読料含む)の寄付をしてくださった方にお送ります。
- 郵便振替口座番号 00170-1-20920